

消防防災ヘリコプターの現状に関するアンケート調査

消防防災ヘリを運航する都道府県、政令指定都市に対して、アンケート調査をお願いしています。

1 アンケート調査の目的

一般財団法人災害支援財団は、災害が発生した時に初動で活躍が期待される消防防災ヘリコプターの運航に関する現状を理解し、その改善策を国に提案することを目的にしています。

2 消防防災ヘリコプターとは

消防防災ヘリコプターとは、消防防災活動・救急活動を支援するために道府県と東京消防庁、政令指定都市の消防局、総務省消防庁が保有する中型・大型ヘリコプターの事を指します。

3 消防防災ヘリの任務の確認

「消防防災ヘリコプターは、他の消防隊や救急隊と同じように、いつでもどこで災害が発生しても素早く対応できるよう、

365日・24時間常時即応できる体制を確保する必要がある。」(何らかの理由で飛べない時間の短縮が必要)

「消防防災ヘリコプターの効果的な活用に関する検討会報告書（平成21年3月総務省消防庁）」より

4 消防防災ヘリの現状

総務省消防庁の資料 (令和元年11月1日現在) 現在75機を保有 (現在は76機)

5 消防防災ヘリの活躍

独自入手 九州豪雨 防災ヘリ救助41時間の全記録 <https://www.youtube.com/watch?v=jvNZbwumne8>

災害発生時に住民の命を救う救助活動の中心が消防防災ヘリです。

6 夜間飛行の問題

騒音問題：災害や急患等で夜間の離発着は不可欠であり、住民の理解を得ることが必要

夜間離発着施設：夜間飛行を要求するために夜間飛行及び離発着に必要な夜間設備の整備

7 人的な問題

ヘリ操縦士、整備士、救助員等の消防防災ヘリの運航に必要な人材が不足 (当直の可否等)

現状の問題点等 (消防防災ヘリ操縦士の育成について)

8 整備能力、整備用部品等の確保

各消防防災ヘリ管理団体が個別に対応し、ヘリ機体の稼働能力を保持することは難しい。